



絵・石井一隆(当事者)

なごみだより

令和元年度春号(第26号)

とちぎ高次脳機能障害友の会 2019.5.19発行



この会報誌は、赤い羽根共同募金の助成金により発行しています。

はじめに

令和という時代がスタートいたしました。元号が未だに生活の中に浸み込んでいる私達日本人にとって西暦や年齢以外に人生の区切りと捉える元号が有ることは、ある意味幸せなのかもしれません。平成のこれまでを一区切りとして、令和という時代に新しい一步を踏みだせるような気持ちになる人は決して少なくはないと思います。

さて、平成の最後に栃木県内における高次脳機能障害支援のしくみがやっとつくられ始めた私達は実感しています。それは言うまでもなく、障害者総合相談所（相談）と県立リハビリテーションセンター（医療）の下に、5つの地域支援拠点医療機関が指定・公表されたことです。それは県内の当事者や家族にとって目に見える指標になることは間違いありません。さてそれでは、これからの新しい時代にそのしくみをいかに実効性あるものにし、実質的な意味で高次脳機能

障害に悩み苦しむ人の救済につなげていくのか、あらゆる関係機関や関係する人々がそれぞれの立場で真摯に取り組み、各々の地域の特性を十分に活かした組織をいかに作り上げられるかが大変重要であると考えます。勿論、その関係者の中には当然私達当事者や家族も加わり共に努力することが必要で、各自が障害を理解してもらえよう声を挙げ行動しなければなりません。

私達は今年度の活動の中でまた一つ新しい取り組み（家族の集い）をはじめます。役員のみならず手不足の中で新しく運営委員さんが4人加わり力を貸して下さいになりました。せっかくの試みです。会員の皆様のご活用を期待しています。

とちぎ高次脳機能障害友の会
会長 中野 和子

目次

はじめに.....	1
活動報告.....	2, 3
研修会・委員会・その他の活動報告.....	4 - 6
2019年度5月～10月の活動予定.....	7
日本高次脳機能障害友の会・その他のお知らせ.....	8
復職・一般就労をめざす人へ.....	9, 10
新聞・TV ニュースの中から.....	11
入会のご案内.....	12

活動報告

1月定例会

1月12日(土)13:00-16:00 ぽぼら 参加者14名

<仲間リハ>

けっこう難しい脳トレ問題で、家族やボランティアの学生さんも一緒に頭をかかえながら石井(母)さんの準備をしてくれた問題に取り組みました。

<なごみの会>

お正月の集いなので ジェンガと輪投げを楽しみました。それぞれ自分の番になると緊張と集中で表情が引きしまりますが、他の人の様子を見ている時には大笑いをしたり横やりを入れてちゃかしたり、とても楽しい時間でした。景品もあって ささやかですが嬉しいものです。

2月定例会

大雪の予報も出ていたた為中止にしました。

3月定例会

3月9日(土)13:00-16:00 ぽぼら 参加者19名

今回多くの当事者の参加があり、互いに近況報告する様子も見られました。

<仲間リハ>

先月予定していたコラージュをやりました。2本の線(太さ、長さ、形状は自由)をまず紙面に描くという条件の下にコラージュをやりましたが、この条件がけっこう難しかったようです。2本の線を描く時 隣りの人を気にしたり、また2本の線を描いたあと手がとまってしまい じーっと紙面を見つめる人もあり、いつものコラージュの時間とは違った様子があちらこちらに見られ、興味深い時間となりました。

<なごみの会>

年間活動の振り返りというテーマで話し合いました。

主な意見

- 活動に参加して良かったしこれからもできうる限り参加したいと思っている。
- コラージュが楽しい。
- 今回自分から来たいと言って参加した。よかった。
- 以前よりずっと話せるようになったのでこれからも続けて参加したい。
- りんどう湖(研修旅行)が楽しかった。
- 研修旅行で 軽井沢(再度)や川越にも行ってみたい。
- クリスマスも定例会も参加して楽しかった。
- 毎日の生活の中で いろいろあるので、私にとってここは気持ちが落ちつける場所になってうれしかった。(一人ぐらしをはじめたので特に…)

学生ボランティアさんから

- 今回初めての参加で楽しいだけではなく勉強になることも多い。来年度はもっと参加したい。
- 1～2年間の関わりしか学生にはない。毎回何を手伝ったらいいのかわからない。今回の経験はこれからも活かしたい。



家族から

- 息子が自分から参加したいと言って参加できたので良かった。
- 当事者の参加者が多くなり嬉しい。今年は大きな体調の崩れもなくすごせたが、年齢を重ねてきて目や思考力に問題が出てきて、いつまで当事者を支えられるか心配。
- 辛いことが重なった一年だった。健康面で自分自身にも不安があり、ここに参加すると悩みや想いが共有できてほっとするが、あと何回参加できるかな…と思う。当事者の息子は一回も会に参加したことはなく、他の家族のことも不安。
- 70歳をすぎて役員の仕事にとまどう事もある。

以上のようにそれぞれの立場から率直な意見が出されました。

当事者の中には家族の高齢化の問題を抱えて日々生活している人も少なくありません。また家族も自分自身の高齢化や健康不安を抱えながら当事者の将来を案じたり、家族間の関係性に変化を感じたりしている人もいて、互いにそれぞれに違った立場の人の話を聞き、その気持ちを汲み取り、考える時間も大切なことであると強く感じました。このような定例会そして研修旅行 講演会クリスマス会等で、当事者も家族もそれからいずれは支援者をめざすボランティアの学生さん達も、同じ時間や空間を共有し合う中で、知り、学び、共感し、確認し合うことができ、参加する全ての人が、ほっとできるあるいは楽しく感じる会活動で今後もありたい、と強く思いました。

研修会・委員会・その他の活動報告

佐野市の家族の集い

1月11日(金)13:00-15:00 参加者 中野
いきいき元気館たぬま

今回集まった佐野市の家族は3組でしたが回を重ねる毎に話の内容が深まっています。参加された家族の本音の部分が語り合える機会になってきていると感じています。この会は佐野市の相談事業所

みどりさんを中心に、行政や福祉の方々のご支援により2ヶ月に1回開催されています。将来的には佐野市をはじめその周辺の方々も参加され、この集いが息の長いものになることを願っています。

群馬高次脳機能障害講演会

1月20日(土)13:30-16:00 参加者 中野
群馬県社会福祉総合センター

「地域支援の考え方と実践」というテーマでの講演会でした。一部は藤岡市の障害者生活・支援センター“トータス”の藤井英子氏によるセンターの紹介と実践例から2事例の紹介でした。二部は渡邊修先生のお話しでしたが、特に個々の就労準備性（これは宇都宮市の講演の折にも伺ったものですが）から就労支援機関の義務と役割、更には就労機関の合理的配慮の指針と続く支援の連携、大変

具体的で聴講された方々には興味深い内容であったと思います。栃木県内でも、今後構築されるであろう支援のしくみがこのような多角的視野と複合的支援の連携の下で実践されるようなものになることを切に願いながら会場を後にしました。また、この講演会には足利赤十字病院の専門職の方々も数名参加して下さいました。心強い限りです。

北関東(群馬・茨城・埼玉・栃木)家族会交流会

1月24日(木)10:30-14:00
越谷市民活動センター

第2回目の会合です。同じ家族会であってもその成りたちは全く違いますし、実際の活動内容もずいぶん違いがあるとそれぞれが感じていますので、今のところそれぞれの実情を話し合い感想を

述べ合っています。その中で共感すること有り、心配すること有り、羨むこと有りといろいろですが、この会合でさまざまな情報とエネルギーを沢山頂いていると感じています。

真岡市役所訪問

社会福祉課 1月28日(月)9:30-10:30
市長 2月5日(火)13:00-13:15

真岡地区の高次脳機能障害者の掘りおこしと、県東部地域支援拠点医療機関である真岡市中央クリニックさんと市の連

携、更には県東部地域の支援の中核としての役割の遂行をお願いしました。

高次脳機能障害支援連携協議会 (第2回目)

2月8日(金)16:00-17:30 出席者 中野
県リハビリテーションセンター

県立リハビリテーションセンター・障害者総合相談所を中心として、昨年指定された地域支援拠点機関の5病院との連携のしくみ、5病院の支援拠点機関としての体制整備に関して協議されました。勿論、これらのしくみが整い実効性

を発揮するにはまだまだ準備や時間を要します。それまでは、それぞれの地域の特性を活かしながらも地域の垣根を超えた支援の連携を保っていただけるよう会として要望しました。

地域支援拠点機関に指定された5病院

- ・足利赤十字病院(足利市)
- ・国際医療福祉大学病院(那須塩原市)
- ・栃木県医師会塩原温泉病院(那須塩原市)
- ・真岡中央クリニック(真岡市)
- ・リハビリテーション花の舎病院(野木町)

とちぎソーシャルケアサービス学会

2月23日(土)10:00-16:15 参加者 中野
福祉プラザ

主催団体はとちぎソーシャルケアサービス従事者協議会というところで、一般社団法人栃木県社会福祉士会、一般社団法人栃木県介護福祉士会、栃木県医療・社会事業協会、栃木県ホームヘルパー協議会、栃木県精神保健福祉士会、栃木県ソーシャルワーカー協会の6団体約1,200名の会員の方が所属しているということです。

学会1では当事者6団体の方が登壇され、当事者の生の声が伝えられました。

その後シンポジウムに入り、(学会2として)協議会5団体の代表者の方から「現場の課題とは何か」というテーマで発表があり(学会3として)協議会会

員を中心に6~8人のグループに分かれてワールドカフェ方式で「当事者の願いを実現するために何をなすべきか」意見交換をしました。私は最後まで参加し、協議会々員の方に混じって意見交換をしました。学会1で発表された方々の姿が午後には見られませんでしたので大変残念に思いました。

異なった専門職の方々の垣根を超えた情報交換はとても大事だと思いますが、障害のある人や家族と多種の専門職のかたがたの交流も、ただ講演形式だけの交流ではなくさまざまな形で交流し、互いに理解の基礎となる時間や空間の共有が増えていくことを強く望んでいます。

TDF(栃木障害フォーラム)
研修会

3月19日(火)13:30-16:00 参加者 中野
福祉プラザ

テーマ「障がいを持って就労することの現状と課題」

第1部 基調報告「障害者権利条約を暮らしに生かすために」(権利条約とパラレルレポートを知ろう) 講師 阿部一彦氏…日本障害フォーラム代表 他…

第2部 パネルディスカッション
「障害者が一般企業で働くことについて」パネリストは、県西・県東・宇都宮のそれぞれの圏域 障害者就業・生活支援センターの福島和開氏、新井みゆき氏、阪本晃氏で、コーディネーターは NPO 法人チャレンジド・コミュニティの金井光一さん。事例を上げて、雇用を実現するための雇用主側の視点にたつて、また就労する側の視点に立って、それぞれの問題点などが話し合われました。

第9回講演会打ち合わせと
院内カンファレンス

3月20日(水)16:30-18:00
足利赤十字病院

○打ち合わせ
船山道隆先生にご講演依頼 他
○院内カンファレンス
17時から約1時間、高次脳カンファ
レンスに参加(中野)

Dr、OT、ST、PT、SW さんからたくさんのご質問をいただき、家族の立場から私たちの経験や思いを伝えさせていただきました。とても貴重な機会をいただき、船山先生はじめ参加してくださった皆様に心から御礼申し上げます。

赤い羽根共同募金説明会

3月28日(木)14:00-15:00 出席者 中野
福祉プラザ

今年度も配分金(6万円)をいただけることになり、会報作製と講演会開催の一部費用に当てさせていただくことになっています。

2019年5月～10月の活動予定

- 5月19日(火) 10:00-15:10 ぽぽら
総会・学習会
-
- 5月29日(水) 13:00-15:00 カフェ・インクブルー
家族の集い
-
- 6月8日(土)
研修旅行 いわき方面
-
- 6月28日(金) 10:00-12:00 ぽぽら
家族相談会(個別)
-
- 7月13日(土) 13:00-16:00 ぽぽら
定例会 仲間リハ(パソコン) なごみの会
-
- 7月24日(水) 13:00-15:00 カフェ・インクブルー
家族の集い
-
- 8月23日(金) 10:00-12:00 ぽぽら
家族相談会(個別) (8月の定例会はお休みです)
-
- 9月14日(土) 13:00-16:00 ぽぽら
定例会 仲間リハ(パステル画) なごみの会
-
- 9月25日(水) 13:00-16:00 カフェ・インクブルー
家族の集い
-
- 10月6日(日) 13:00-15:30 佐野市中央公民館
第9回講演会(佐野市)
-
- 10月18日(金)、19日(土) 高松市(香川県民ホール・レクザム)
全国大会in香川
-
- 10月25日(金) 10:00-12:00 ぽぽら
家族相談会(個別)

今年度から家族の集いを隔月開催します。場所はオリオンスクエアに面する東側のビル(カフェ・インクブルー)の2階です。お茶を飲みながら家族の想いや悩みを皆さんで話してみませんか。前もってのご連絡は不要です。参加されると少し楽になれるかもしれません。

カフェ・インクブルー 宇都宮市江野町9番8号 山崎ビル TEL 028-688-8501

家族相談会は**従来どおりぽぽら**でおこない、予約制です。
電話は0285-38-6485です。

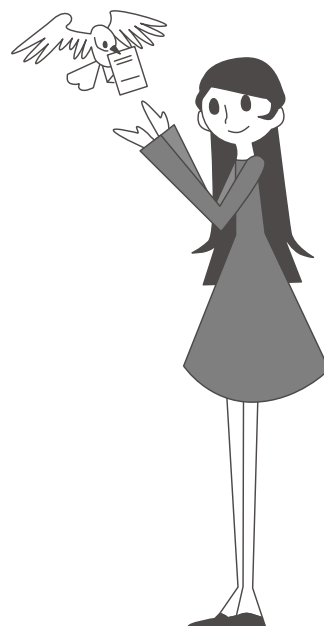
日本高次脳機能障害友の会 (旧日本脳外傷友の会)よりお知らせ

2019年1月より正式に名称が変更され 連絡先も変更になりました。

【名称】 特定非営利活動法人日本高次脳機能障害友の会
【事務局】 〒460-0021 愛知県名古屋市中区平和 2-3-10 仙田ビル 4F
FAX 059-332-7729
理事長 古謝由美 (三重) 事務局長 長谷川真奈美

第19回全国大会2019 in かがわ

開催日 2019年10月18日(金)・19日(土)
交流会 高松国際ホテル
大会 レクザムホール(香川県民ホール)
全国から毎年沢山の家族、当事者、
そして支援者が一同に会します。



寄付のお願い

引き出しの奥に眠っている古いハガキや切手、テレホンカード、また書損じハガキ等ありましたら是非ご寄付下さい。新しいハガキ等に交換させて頂き、活動の一助にさせて頂きたいと思っております。

毎年たくさんのご寄付をいただき、通信用切手・ハガキ等に交換させていただいております。ありがとうございます。

栃木県障害者総合相談所より

事故や脳の病気の後、様々な症状や生活上の問題でお困りの方がおられましたら

栃木県障害者総合相談所 高次脳機能障害担当
TEL 028-623-6114

までご連絡下さい。

受付時間 8:30-17:15 (土・日・祝日・年末年始を除く)

復職・一般就労をめざす人へ

もう一度、ご本人もご家族もチェックしてみましょう。

就労準備性…（一般就労に必要な能力）

1. 病状が安定している。（てんかん発作など）
2. 就労への強い意思を持っている。
3. 身の廻りを常に清潔に保てる。（日常生活の自立）
4. 1日5～6時間×5日間の労働を維持する体力がある。
5. 交通機関の安全な利用が一人でできる。
6. 自分の障害を正しく説明できる。
7. 自らの障害を補う代償能力を獲得している。
8. 感情コントロールができる。（周囲とのコミュニケーションがとれる）

昨年の渡邊修先生のご講演の中でも話された八つの項目です。

就労の為の相談機関

就業面と生活面の一体的な相談・支援

●障害者就業・生活支援センター（中ポツさん）

①宇都宮圏域（担当：宇都宮市）

〒321-0905 宇都宮市平出工業団地 43-100
TEL 028-678-3256 FAX 028-678-3257

②県西圏域（担当：鹿沼市・日光市）

〒322-0007 鹿沼市武子 1566（福）希望の家内「フィールド」
TEL 0289-63-0100 FAX 0289-60-2588

③県東域圏（担当：真岡市・益子町・茂木町・市貝町・芳賀町）

〒321-4305 真岡市荒町 111-1「チャレンジセンター」
TEL 0285-85-8451 FAX 0285-85-8452

④県南圏域（担当：栃木市・小山市・下野市・上三川町・壬生町・野木町）

〒321-0206 下都賀郡壬生町あけぼの町 5-6「めーぷる」
TEL 0282-86-8917 FAX 0282-21-7109

⑤県北圏域（担当：大田原市・矢板市・那須塩原市・さくら市・那須烏山市・塩谷町・高根沢町・那須町・那珂川町）

〒329-1312 さくら市櫻野 1270「ふれあい」
TEL 028-681-6633 FAX 028-681-6634

⑥両毛圏域（担当：足利市・佐野市）

〒326-0865 足利市真砂町 1-1 安足健康福祉センター内
TEL 0284-44-2268 FAX 0284-44-2268

復職や就職を目指す人、雇用主等双方へのジョブコーチ支援

● 栃木県障害者職業センター

〒320-0865 宇都宮市睦町3番8号

TEL 028-637-3216 FAX 028-637-319

就労支援

● 福祉施設

就労継続支援 A 型..... 雇用契約に基づき生産活動をし 一般就労を目指す。

就労継続支援 B 型..... 雇用契約を結ばず工賃を貰いながら生産活動をし就労継続支援 A 型や一般就労を目指す。

就労移行支援..... 一般就労に向けた訓練を受ける。利用期間は原則 2 年。

就労定着支援..... 一般就労した人の生活面の課題や企業・関係機関との連絡調整とそれに伴う課題解決に向けての支援、利用期間は 3 年を上限。

※それぞれの施設で支援内容が異なる為、必ず事前に問い合わせを！

● 県内14のハローワーク（宇都宮と小山は2ヶ所）

● 独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構

国立職業リハビリテーションセンター

〒359-0042 埼玉県所沢市並木4丁目2番地

TEL 04-2995-1201（職業評価課） FAX 04-2995-1277

職業的自立に必要な職業指導や訓練をし、ハローワークと連携し求職活動支援を行なう。（募集期間、見学説明会、申請要件、入所要件などあり）



新聞・TVニュースの中から

日光に医療連携法人

2月13日 下野新聞

日光市と市内医療機関が連携し安定した医療体制の確保を目指す。

将来的にリハビリなどの回復期医療病床の不足が懸念される中、病院相互のあるいは病院と診療所などで病床の融通や連携を行ない、地域包括ケアシステムの構築をめざして市民に必要な医療を安定

的に確保できるしくみづくりをすすめる。

この法人に参加するのは 双愛病院、今市病院、日光野口病院、大沢台病院、川上病院、獨協医大日光医療センター、日光市民病院、森病院、木村内科医院、見龍堂クリニック 新沢外科医院、そして日光市の 11 団体である。

リハビリ病床確保は私達高次脳機能障害者にとりまして大事な問題です。日光地域にこのような動きが視られて日光にお住いの方は少しほっとできますでしょうか。

市貝に74床の新病院

2月19日 下野新聞

茂木中央病院と芳賀中央クリニックを統合し新たに芳賀中央病院（74床）として来年夏に市貝町上根に開院予定。内科、外科、整形外科、リハビリテーショ

ン科など 10 の診療科を設け、救急患者受け入れも 24 時間対応、症状が安定した患者の在宅復帰支援の地域包括ケア病床も 19 床確保されるという。

芳賀地区に住んでおられる方には朗報ですね。

障害者就労、最多を更新

4月10日 下野新聞

昨年 6 月 1 日時点での民間企業で働く障害者は 53 万 4769 人で過去最多。しかし法定雇用率 2.2% には届かず、

2.05% であった。本県は 2.0% で全国平均を下回る。法定率達成の企業も 1237 社中 679 社で 54.9% だった。

民間企業の雇用率を高めるためにも水増しなどせず国や自治体の採用を進めて欲しいものです。また 障害種別による雇用の不均衡も大きな問題ですね。きめ細かな合理的配慮の必要性も十分検討されなければならないところでしょう。

脊髄損傷の人に再生医療による治療

4月13日 NHKおはよう日本

札幌医科大学附属病院は 5 月より受傷から 1 ヶ月以内の脊髄損傷（重傷者）の患者の受け入れを開始し、再生医療によ

る治療をする。この治療は保健適用となる。また、この治療は いずれ脳梗塞などのマヒにも発展させたいと 発表された。

再生医療の分野がどんどん拡大しています。脳損傷への治療も期待したいものです。

入会のご案内

高次脳機能障害者（児）とその家族が悩みを話したり、医療や福祉に関する情報を交換したり、理解ある方々の支援の下一人一人の可能性を伸ばし、楽しみや生活の目標を見つけて地域の中で暮らすことができるよう活動しています。一人で悩まずに共に活動していきましょう。

なお、この障害にご理解・ご支援下さる方も、どうぞ賛助会員として長く関わって頂けますようお願い致します。

【活動内容】

- ・ 定例会開催（仲間リハ・なごみの会）
- ・ 講演会・学習会の開催
- ・ 会報誌（なごみだより）年3回発行
- ・ 家族の相談会（個別）、家族の集い
- ・ 研修旅行 など

【年会費（一口）】

正会員（個人・家族）	3,000 円
賛助会員（個人）	2,000 円
賛助会員（団体）	5,000 円

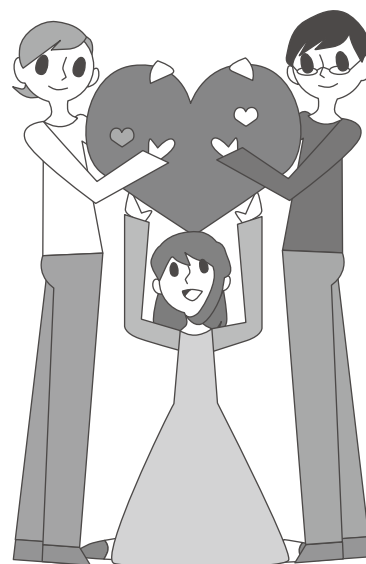
【主な活動場所】

ぱぱら

〒320-0032 宇都宮市昭和 2-2-7

TEL 028-623-3455

※県庁西側 税務署北側



編集後記

世の中の出来事や変化が目まぐるしすぎて、その一つ一つを受け止め整理し記憶にとどめることが難しくなってきた自分がいます。新元号、新天皇即位、キャッシュレス化、一方では新紙幣発表、諸物価の値上げ、ノートルダム大聖堂の炎上、スリランカのテロ、池袋の大惨事、地方統一選挙、数えきれない程のこの春の出来事。すべてをシャットアウトするとただ目先だけの本当に身近な周囲の事だけしか頭に入っていない自分になりそうで...複雑な気持ちです。（中野）

☆お問い合わせ・お申し込み先

〒329-0502

下野市下古山 3003-47（中野宅）

TEL/FAX 0285-38-6485

※定例会の見学・体験なども随時受け付けています。ご希望の方はご連絡下さい。

会報作成担当

表紙・絵 : 石井 一隆 石井 ミヨ

本文編集 : 中野 和子 中野 宥

印刷・製本 : Cocowa (就労移行支援事業所)



那須
りんどう湖の
動物たち

